

2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス柏たなか教室

対象人数（保護者）34人 回答者数 30人 回収 88.2%

		チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	1	お子様は安心感をもって通所していますか？	25	5					多くの方から『安心して通所できている』とお声をいただき、職員一同とても励みになっております。これからも、お子様が毎日安心して過ごせるよう、温かく丁寧な支援を心がけてまいります。
	2	お子様は楽しんで通所していますか？	24	5				・行くまでは行き渋りがあることもありますが、行ってしまえば楽しんでいるようです。 1・まだ、環境に慣れていないのか？行きたくないと言っています。しかし、行ってしまえば楽しく過ごせているようで、どんな気持ちなのかよくわかりません。	通所前に不安や戸惑いを感じるお子様もいらっしゃるようですが、教室では、来所後に楽しく過ごしていただけるような環境づくりを心がけています。いただいたご意見を参考にしながら、安心して通えるよう、気持ちに寄り添った支援を今後も大切にしてまいります。
環境・体制整備	3	怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	22	8					お子様が安心して活動できるよう、教室内の安全点検を日々行い、環境整備に努めています。活動内容も年齢や発達に応じて、安全面に配慮したものを選び、職員が見守りながら進めています。
	4	生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	22	7			1		お子様が気持ちよく過ごせるよう、清掃や整理整頓を毎日丁寧にを行い、清潔な環境づくりを心がけています。
	5	お子様にとって活動のスペースは十分だと思えますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47㎡以上と設備基準には定められています。	24	5	1				お子様がのびのびと活動できるよう、設備基準を満たした広さを確保しています。活動内容に応じてスペースの使い方を工夫し、安心して体を動かせる環境づくりに努めています。
	6	職員の配置数は適切で十分だと思えますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	23	7					人員配置基準（保育士または児童指導員2名以上）を遵守し、適切な職員数を確保しています。お子様一人ひとりに丁寧に関われるよう、職員同士で連携を取りながら支援を行っています。
	7	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思えますか。 （※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。）	25	5					お子様が『ここでは何をするのか』を理解しやすいように、机や棚の配置、掲示物などを工夫し、環境の構造化に取り組んでいます。
適切な支援の提供	8	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	19	11					職員一同、お子様の特性や発達段階を丁寧に理解し、それぞれに合った支援を心がけています。今後も専門的な知識と経験を活かしながら、より質の高い支援を提供できるよう努めてまいります。
	9	教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思えますか。 （※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。）	20	10					ホームページで公表している支援プログラムに基づき、日々の支援内容を展開しています。実際の活動もプログラムの内容に沿って行われており、保護者の皆さまにもわかりやすく伝わるよう工夫しています。今後も支援の見える化を意識しながら、より信頼いただける取り組みを進めてまいります。
	10	こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿ってが客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思えますか。 （※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。）	24	6				・親からの話や普段の様子から子どもの得意不得意を理解いただいた上で支援計画を作成いただいています。	温かいご意見をありがとうございます。保護者の皆さまからのご意見や、日々の様子を通してお子様の特性やニーズを丁寧に把握し、客観的なアセスメントをもとに個別支援計画を作成しています。計画の内容についても保護者の方と共有し、ご理解とご協力をいただきながら進めています。今後も一人ひとりに寄り添った支援を提供できるよう努めてまいります。
	11	児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思えますか。	20	10					お子様一人ひとりの児童発達支援計画（個別支援計画）に基づき、日々の支援を丁寧に行っています。今後も計画に沿った支援を大切にしながら、より良い支援の提供に努めてまいります。
	12	社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。	24	6					季節の行事や外出イベントを通して、さまざまな体験の機会を提供しています。今後もお子様にとって楽しく、成長につながる活動を企画してまいりますので、ご希望がありましたらぜひご意見をお寄せください。
保護者への説明	13	教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	24	6					ご利用開始前に、運営規程や支援プログラム、利用者負担（費用）などについて、丁寧に説明するよう心がけています。保護者の皆さまに安心してご利用いただけるよう、内容の確認やご質問への対応も行っております。今後もわかりやすく、誠実な情報提供に努めてまいります。
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	23	7					児童発達支援計画（個別支援計画書）をもとに、支援目標や具体的な内容について保護者の皆さまにわかりやすく説明するよう努めています。お子様の状況や成長に応じて計画を見直しながら、共有とご理解を大切に支援を進めています。
	15	教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等 ※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。 （※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。）	12	12			6		今回のアンケートでは『わからない』との回答もいただき、今後の情報提供のあり方について考えるきっかけとなりました。現在、ペアレント・トレーニングの実施はありませんが、今後、保護者の皆さまが参加できる研修会や学びの機会があれば、積極的にご案内してまいります。ご希望などがありましたら、ぜひご意見欄にお寄せください。
	16	日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	7	1			・家庭での様子を伝えると、全職員に周知徹底されているようで安心します。	ご意見をいただき、ありがとうございます。お子様の健康や発達の状況について、日頃からご家庭との情報共有を大切にし、職員間でも連携を図っています。今後も共通理解を深めながら、安心して通っていただける支援を心がけてまいります。
	17	定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会がありますか。	20	9	1				日頃からご家庭との情報交換を大切にし、お子様の健康や発達の状況について職員間で共有しながら支援を行っています。今回のアンケートでは『やや不満』とのご意見もいただき、今後さらに丁寧な情報共有と説明を心がけてまいります。安心してご相談いただけるような関係づくりを大切にしていきます。
	18	教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	20	8	1		1		多くの方から『満足』とお声をいただき、職員一同励みになっております。また、『やや不満』『わからない』とのご意見もあり、今後さらに共感的な関わりや、支援の意図が伝わるようなコミュニケーションを心がけてまいります。お子様や保護者の皆さまに寄り添った支援をこれからも大切にしていきます。
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄をお願いします。	13	8	1		8	・以前、親子参加イベントで他の親御さんのお話を聞ける機会があり参考になりました。 皆さん緊張気味でお話が進んできたところで時間切れになってしまったので、またあったら参加したいです。（親子別室で） ・また子育て相談会のようなものがあれば参加してみたいです。	保護者の皆さまから温かいご意見をいただき、ありがとうございます。保護者の皆さまも同士が安心してお話しできるような機会づくりを、今後も工夫していきたいと考えています。いただいたご意見を参考に、より参加しやすく、充実した交流の場を設けてまいります。

	20	相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	17	10			3		相談や苦情への対応について、迅速かつ丁寧に行えるよう体制を整えています。ご意見をいただいた際には、内容を真摯に受け止め、適切な対応を心がけています。今後も安心してご相談いただける環境づくりに努めてまいります。
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	20	9	1				日頃から、お子様や保護者の皆さまとの意思の疎通や情報の伝達に丁寧に取り組んでいます。やや配慮不足と感じられた方もいらっしゃるかもしれませんが、今後さらにわかりやすく、安心してやりとりができるような配慮を心がけてまいります。
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	7			1		活動の様子や行事予定、連絡体制などの情報は、主にHUGを通じて発信しています。また、イベントなどについてはInstagramでもご紹介し、保護者の皆さまに教室の雰囲気を感じていただけるよう工夫しています。今後もわかりやすく、タイムリーな情報提供に努めてまいります。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	10	1				個人情報の取扱いについては、適切な管理と慎重な対応を心がけています。
非常時等の対応	24	教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	11			1		教室では、事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対策などの各種マニュアルを整備し、職員間での共有や訓練を行っています。今後は、保護者の皆さまにも内容をわかりやすくお伝えし、安心していただけるような情報提供に努めてまいります。
	25	教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	23	6			1		非常災害の発生に備え、教室では定期的に避難や救出などの訓練を行い、職員間での連携や対応力の向上に努めています。今後も、万が一の際に落ち着いて行動できるよう、継続的な訓練と確認を重ねてまいります。
	26	教室より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	7			2		お子さまの安全を最優先に、教室では支援を行っています。安全確保のための計画や対応についても、今後さらに丁寧にお伝えできるよう努めてまいります。安心して通っていただける環境づくりを、これからも大切にしていきます。
	27	事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	20	9			1		事故や怪我などが発生した際には、速やかに保護者の皆さまへご連絡し、状況や対応について丁寧に説明するよう努めています。今後も安心していただけるよう、迅速かつ誠実な対応を心がけてまいります。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏たなか教室

公表日 2025 年 12 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・朝礼や昼礼に必ず利用者を確認し、人数配置などを話し合っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・子どもの達の特性や刺激となりやすいものを視覚から減らすことや個人情報保護のために職員間で必要な情報共有も適切に行えるようにツールを用いて取り組める。 ・毎回活動後に振り返りを行い、各利用者に対して適した環境になるよう職員間で話し合い、お支度や活動が進みやすいように調整している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・より気持ちよく過ごせるよう、引き続き職員間で話し合い改善していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・宿題や更衣の際に別室に移動できている。仕切りなどがあるとより良いと感じる為、検討していく。 ・相談室を使用した場合は、扉を閉めてしまうと外から中の様子を確認できないため、活動する教室内にしきりなど子どもが落ち着ける空間がつかれるとよりよいので今後検討していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・毎回活動後に振り返る機会を設けて職員間で情報共有をして改善を試みている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・話し合いながら業務が進みやすいようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・現在は第3者による外部評価は行っていない。今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・個別支援会議、モニタリング面談を通してアセスメント、個別支援計画書を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・職員全員で個別支援会議を行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・いつでも確認できるようになっているが、今後は新しい計画書が出来た際には確認するチェックシートを作成し、より計画に沿った支援が出来るよう改善している。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・毎月変更している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	・個別の活動はないが、集団活動の中での個別対応や個々のねらいに沿った活動を意識している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	・学校との情報共有をしていけるよう、保護者の意向を尊重しながら関係機関との連携を丁寧に進めていけるよう体制を整えたい。 ・保育所等訪問支援や関係機関連携などで必要に応じて行ったり、保護者様を通じて必要な場合行っています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	・研修を受ける機会を設けているが、助言などを受ける機会はまだ設けられていない。他教室での情報も共有しながら進めていく。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・保育園・幼稚園等での交流はないが、児童館や公園での地域の方との交流の機会を作っている。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		

	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	ペアレントトレーニングは行われていないが、保護者も一緒に参加可能なイベントを実施し、交流や情報交換の場がある。 今後ペアレントトレーニングの情報提供ができるよう検討していく。
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・言語を介してのコミュニケーションが難しい場合のコミュニケーション方法を特別支援学校やご家庭など共通した方法を模索していきたい。(マカトンサインなど)
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・招待などすることは現時点ではないが、今後検討していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・現在アレルギーに関して医師の指示書をお持ちの方がいない。 ・都度保護者と確認しながら食べ物を提供している。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		

	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・現在身体拘束を行っている利用者はいない。身体拘束を行う場合は、全職員で十分に検討し、保護者様と相談した上で決定する。また個別支援計画にも記載をしていく。